No.14　横須賀市立武山中学校

学校だより

【学校教育目標】
ゆたかな心を　育てる学校
「学力　文化　コミュニケーション」

令和3年1月 13 日
発行　校長　佐藤昌俊

新しい年を迎えて・・・・　新春を迎え、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。１月７日、元気よく登校してくる生徒を見て、安心したところです。新型コロナウィルス感染症の拡大が止まらない中ではありますが、本年も学校教育目標「ゆたかな心を育てる学校」の実現に向け、保護者の皆さまとともに教育に邁進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、2回目の緊急事態宣言となってしまい、ご心配のことと存じます。

特に３年生は入試本番の時期となり、不安を抱いている生徒・保護者の方も多いと思っています。現時点では入試に関わる大きな変更はありませんが、公立高校も私立高校も、またその他の学校においても新型コロナウィルス感染症への備えを徹底しての入試となっています。３学年からの情報発信にアンテナをはっていただき、ご家庭における準備もお願いいたします。

現在神奈川県に緊急事態宣言が発出されていることや爆発的な感染の広がりを踏まえ、マスクを外す機会が多いことなど、授業よりも感染リスクが高くなってしまいがちな部活動について、１月８日(金)から 12 日(火)までを中止としました。このたび横須賀市教育委員会から、緊急事態宣言下の学校の教育活動に関する方針が示され、緊急事態宣言期間中(２月７日まで)においては部活動は中止とする判断がなされました。子どもたちにとってとても大切であり、楽しみにしている部活動を、本校としても中止にすることは苦渋の決断ではありますが、何卒ご理解くださるようお願いします。

『もう一人の私』・・・・・・・

後期前半終了と後期後半の開始の各集会(テレビ放送)の中で『もう一人の私』について全校生徒にお話しをしました。12 月には、新型コロナウィルス感染症に関わり、医療従事者の方へのいじめや差別の話から、身の回りこととして、所謂”いじめ　”について話しました。弱い心・醜い心に打ち勝つ『もう一人の私』を持つこと、育てること、そしていじめや差別は絶対にあってはならぬことを改めて生徒全員に伝えました。

１月７日の集会では、年頭にあたり目標をもつことの大切さを次のように話しました。「大人の世界に近づいている中学生は『自分で自分を育てる』という考え方が大切であること。そのためには『もう一人の私』が目標をもち、それに向って努力するよう自分自身に働きかけ、育てること。様々な人からの教えなどがあっても、最終的にどんな生き方をするかの判断(選択)は自分自身であること。」などを話しました。少し抽象的でわかりづらかったかもしれませんが、子どもたちには『自立・自律』に向って歩んでほしいと願っています。